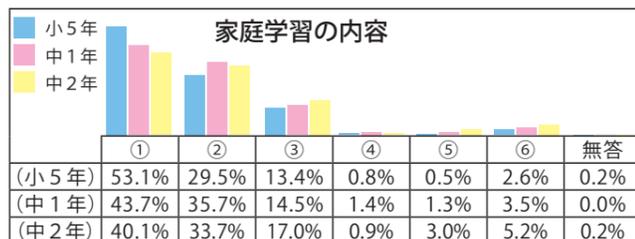


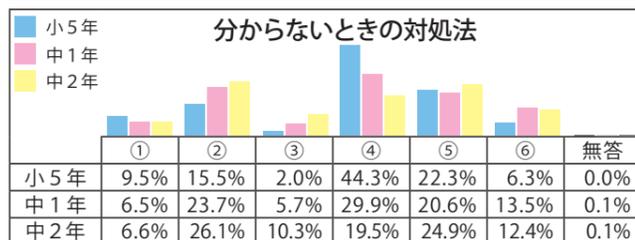
1 家庭学習はどのようにしていますか。

- ①学校の宿題だけする
- ②学校の宿題がすんだら自分で考えて他の学習をする
- ③学校の宿題と塾の学習をする
- ④学校の宿題はしないが自分のやりたい学習をする
- ⑤塾で学習をするだけで家庭学習はしないことが多い
- ⑥学校以外ではほとんど学習はしない



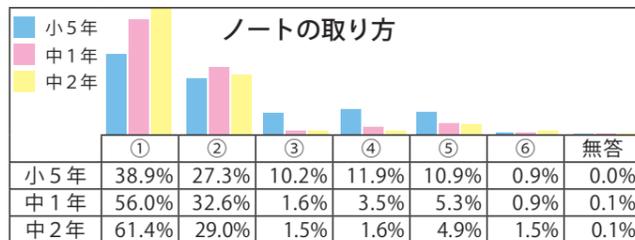
2 学習のときに分からない問題は どうしますか。

- ①学校の先生に聞く
- ②友達に聞く
- ③塾の先生や家庭教師の先生に聞く
- ④家族や親戚に聞く
- ⑤自分で調べる
- ⑥そのままにしておくことが多い



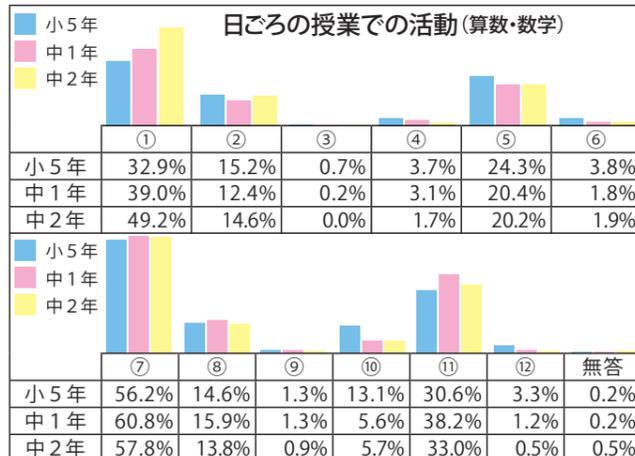
3 授業中、ノートをとるのようになっていますか。

- ①板書してあることを写している
- ②板書してあることを写すだけでなく自分や友達の考えも書き込んでいる
- ③板書してあることを写すだけでなく、先生の言葉も書き込んでいる
- ④先生が指示したところだけ書いている
- ⑤板書を参考に自分なりにまとめ直ししながら書いている
- ⑥ノートにはほとんど書かない



4 授業では、どんな活動をする事が多いですか。

- ①先生の説明を聞く
- ②学習の手順や方法を考える
- ③実験や観察、見学など、体験をする
- ④課題について、調べ学習をする
- ⑤自分でじっくり考える
- ⑥自分の考えを文章にまとめる
- ⑦問題をといて、答え合わせをする
- ⑧ペアやグループで、考えを出し合ったり教え合ったりする
- ⑨自分の考えや資料をもとに、話し合う
- ⑩お互いに発表したり、説明したりする
- ⑪プリントや問題集でたくさん練習をする
- ⑫学習ゲームをしたり、学習クイズをしたりする



学習状況調査結果から

- 自分の考えをまとめたり、自分の力で課題解決に向けて探究したりする活動が不足している傾向があります。
- 学年が上がるにつれて、「分からない問題への対応」を「そのままにしておく」傾向が高くなり、学習意欲の低下が懸念されます。
- 板書だけ、先生が指示したところだけをノートに書いている児童生徒が半数以上に上っていることから、復習や家庭での自学学習に活用できるノートの取り方を身に付ける必要があります。

教育委員会では今後次のような取組を推進していきます!!

日々の授業改善に向けて取り組みます

- 正解を導き出した過程を大切に、考えた根拠を聞き手が納得できるように説明できるようになる授業
- お互いの考えの交流を通して、自己の考えの変容が明確に自覚できるような授業
- 算数・数学、理科の教科指導力向上を目的とした教員研修会の実施
- 思考・判断・表現力を培う授業改善に力を入れている先進地への教員派遣の実施

自分で課題を見つけて調べ追究する主体的な学習習慣定着に向けて取り組みます

- 他者との交流を通して変容した自分の考えの過程も、記録として残すノートづくり
- 考えることを目的とした学習課題の工夫
- 学校と家庭・地域が連携した学習習慣の定着に向けた活動の推進 (家庭学習強調週間等の取組)

# 平成25年度 学習定着度調査の結果を公表します

県教育委員会は、県内の児童生徒の学力の定着状況を調べ、今後の指導方法を改善し、充実するための資料として活用することを目的に、毎年1月に小学校5年生、中学校1・2年生を対象に定着度調査を実施しています。今年度から、基礎的・基本的な知識技能を問う問題に加え、思考力・表現力等を問う問題も出題されたほか、新たに学習に関する意識や学び方などを把握するために学習状況調査も行われました。

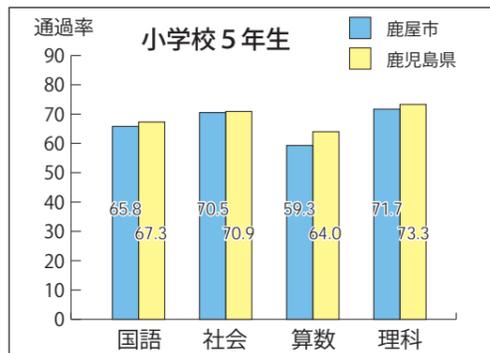
今回、県・鹿屋市の児童生徒の調査結果が出ましたので、市民の皆さんにお知らせします。

【問い合わせ】市学校教育課 ☎ 0994-31-1137

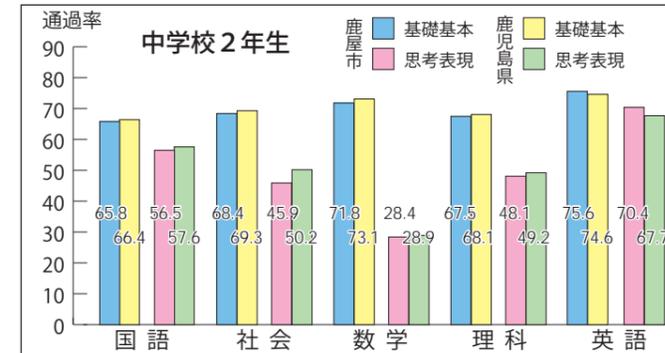
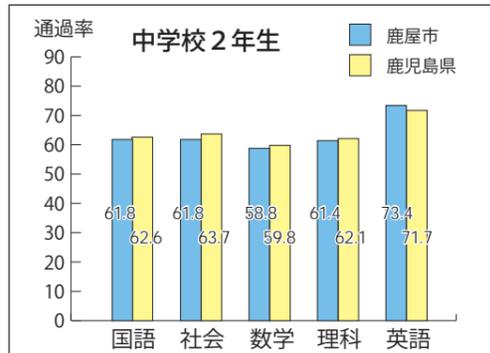
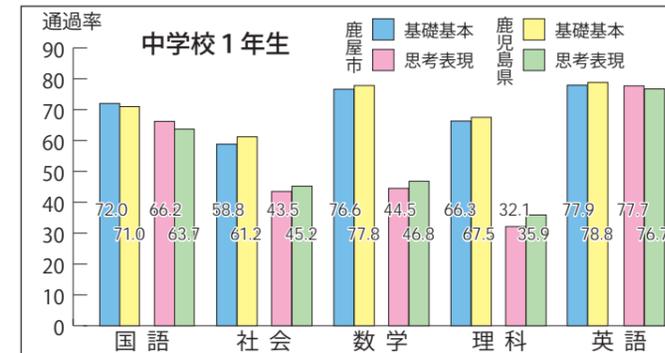
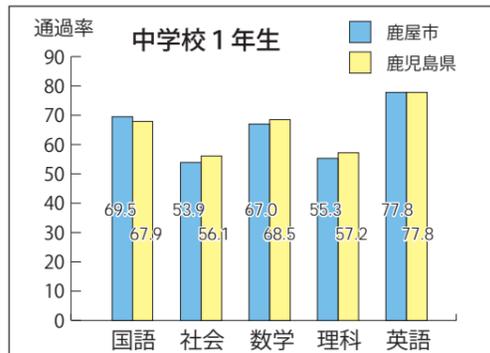
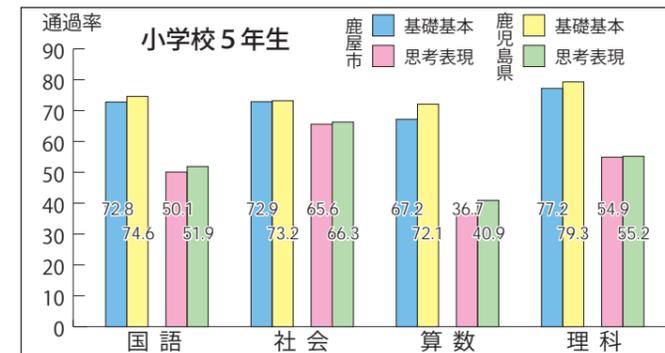


学力調査の結果(平成26年1月15、16日実施)

●全体



●領域別「基礎・基本」「思考・表現」



学力調査の結果から

- 小学校
  - 「基礎・基本」に関しては、算数以外は平均通過率7割を越えており、概ね定着が図られています。
  - 「思考・表現」に関しては、算数が4割に満たない通過率のため、改善に向けての取り組みが必要です。
- 中学校
  - 「基礎・基本」に関しては、概ね定着しています。
  - 「思考・表現」に関しては、社会、数学、理科が5割に満たない通過率のため、特に授業の改善を進め、思考・判断・表現する力を培う必要があります。